令和２年度全国統一防火標語

「その火事を
防ぐあなたに
金メダル」

たかつき消防団だより

消防団に関する詳しい情報は　高槻市消防団　検索

第　62　号
令和２年６月15日
発　行
高槻市桃園町４番30号
高槻市消防団
電話　674－7980

令和２年高槻市消防出初式

芥川分団　団員　川本　柊

令和２年１月12日、高槻市消防出初式が挙行されました。

出初式には、消防職員、消防団員そして市内の各企業内の自衛消防隊員他、総勢約７００名が参加しました。消防音楽隊の演奏で華々しく始まり、消防隊員や消防団員による分列行進の後、車両行進、消防団小型ポンプ操法訓練、救助隊梯子乗り訓練と続き、最後に消防団一斉放水訓練が行われました。

私は昨年18歳で地元の芥川分団に入団し、出初式に参加するのは初めてで、行進の仕方など何も分かりませんでしたが、先輩団員の方が当日の流れ、行進方法など丁寧に教えてくださり、不安無く参加する事が出来ました。

当日は冷え込みも厳しく緊張も重なって、うまく体を動かせるか不安でしたが、事前練習のおかげで無事に終える事が出来ました。

芥川分団は毎年一斉放水訓練に携わるそうですが今年は無く、来年機会があれば経験してみたいです。

まだ入団して間も無く分からない事も多いですが、市民の為にも、今後も日頃の訓練に一層努力して参ります。

令和元年度方面隊連携訓練

大冠分団　分団本部　副分団長　髙島　良博

令和元年11月10日に淀川河川敷船着き場において、大冠分団、三箇牧分団合同の方面隊連携訓練を行いました。

訓練は両分団合わせて消防ポンプ積載車７台を配し、消防出初式と同じ形式で一斉放水訓練を実施しました。私は各隊長に指示を出す指揮者という役割でした。

先ずは訓練開始前に、団員に実施要領を伝え、各分団幹部には各隊長・機関員・隊員に付いてもらい、それぞれの動作等指導して頂きました。初めは団員達も緊張のせいか、各隊長の「放水開始」「放水止め」の号令通りにいかなかったのですが、回数を重ねる毎に放水角度も揃って、要領も良くなり、スムーズに放水出来るようになりました。各分団共に日頃より訓練している成果だと思います。

この訓練は消防団員として消防資機材を有効に活用し、火災防御技術の充実強化、団員の団結を強固にすることを目的に行いました。今後も更に充実した訓練を行い、様々な災害に対応出来るように備えたいと思っています。

最後に今回参加して頂いた団員の方、また幹部の皆様大変有難う御座いました。

三箇牧公民館こどもまつりDEクリスマス

団本部　団員　森川　恵子

令和元年12月14日、天候にも恵まれ、三箇牧公民館で「こどもまつりDEクリスマス」が開催されました。楽しく防災を学ぶ機会にと副団長引率の下、女性消防団員８名で参加しました。

防災グッズの展示の他、火災の怖さを分かってもらう為、子どもだけで花火をして衣服に火が燃え移ったという設定で、どうやって消火するかを分かりやすくまとめた人形劇と紙芝居を披露しました。

実演では心肺蘇生トレーニングツール「あっぱくんライト」を使用し、子どもに楽しみながら心臓マッサージを学んでもらいました。また、火災での避難の姿勢を学んでもらう為、シーツを煙に見立てて潜る体験では、子ども達、高齢者、乳児を抱いたお母さんまで体験してもらいました。

最後にお楽しみのサンタクロースやはにたんと一緒に、「はにたんダンス」を踊る企画では、僭越ながら私が着ぐるみの中に入り、動きが取り難い中、張り切って「はにたんダンス」を踊り切りました。大変貴重な体験が出来ました。

これからも、地域の方々に密着し、お役に立てるよう頑張りたいと思います。

☆令和元年度消防団員特別教育訓練・研修会☆

令和元年度消防団員教育訓練「幹部科　分団指揮課程」

高槻分団　分団本部　副分団長　宮西　康成

令和２年１月19日消防団員教育訓練「幹部科　分団指揮課程」を受講しました。

座学では動画やスライドを見ながら、火災現場における指揮の重要性を学びました。特に火災現場における判断ミスや思い込み、気の緩みが命に関わる事を知り、二次災害事例の動画にはショックを受けました。勿論、現場の消防隊員や消防団員は、精一杯責任感を持って必死に行動しているはずです。しかし、少しの判断ミスで命を落としたり、大怪我をする事を知りました。

それを防ぐには周りのサポートや人を束ねるリーダーが冷静かつ瞬時に判断しなければなりません。

阪神淡路大震災時の消防隊員のドキュメンタリー映像の中で、震災当時に長田商店街の火災に出動した消防隊員の葛藤の様子が流れました。消火活動を優先するか人命救助を優先するかを迫られ、結果として街は焼け野原になり、多くの人命も亡くなってしまい、未だに当時の判断が正しかったのかどうかを自問自答する日々だという内容でした。

私なら同じ状況下でどう判断を下すだろうかと深く考えさせられました。

令和元年度消防団員特別教育訓練「機関科　ポンプ車課程」

富田分団　班長　八木　隆志

令和元年11月24日に大阪府立消防学校で開催された、令和元年度消防団員特別教育訓練「機関科　ポンプ車課程」に参加しました。

午前中は株式会社モリタというポンプメーカーの２名の講師より、ポンプの構造、保守点検の方法、運用時の注意点について学びました。午後からは午前に学んだことを踏まえ、３班に分かれて「消火栓からの放水」「自然水利からの放水」「中継送水からの放水」の３種類の方法を行いました。日頃では、あまり出来ない訓練を経験することが出来、また、間違った操作が原因で機械の故障に繋がる事を学べ、大変勉強になりました。

この日学んだ事を分団内で共有し、各団員の技術技能向上が出来る様、努力して行きたいと思います。

令和元年度大阪府若手消防団員研修会

大冠分団　団員　東天川班　清水　耕造

令和２年２月９日実施の大阪府若手消防団員研修会に参加させて頂きました。

消防団向けに特別に考えられた、消防団危険予知訓練（S－KYT）の研修では、講師の指差し呼称による安全確認の重要性を学びました。そして火災現場や災害現場において、改めて様々な危険が伴っているという事も実感しました。

この研修で得た事を活かして、訓練への参加時には、迅速な判断と行動力が求められる火災現場や災害現場で、どのような危険が潜んでいるか、想定した上で慎重に行動したいと思います。

令和元年度消防団員教育訓練「幹部科　初級指導課程」

阿武野分団　分団本部　副分団長　近藤　規仁

令和元年10月20日に、大阪府立消防学校にて行われた消防団員教育訓練「幹部科　初級指導課程」を受講させて頂きました。

午前中は消火活動における危険予測に関する講義で、特に印象が強かったのは、建物火災における壁の崩落でした。映像では放水作業中に外壁の一部が崩れ落ち、あわやという所で難を逃れましたが、現場指揮者が放水者に下がるよう指示を出した直後の事でした。少しでも判断が遅ければ、巻き込まれていた所だったと思います。

この様に瞬時に現場の状況を把握し、適切な指示を出す事がとても大切だと思いました。

午後からは放水訓練で、普段使った事が無い資機材での模擬消火活動を行いました。新しい知識を得たので、分団に持ち帰り、各団員に伝えていきたいと思います。

最後にこの訓練で習得した知識を消防活動に活かしたいと思います。

表彰

消防庁長官表彰

・永年勤続功労章
奥　正雄（団本部）

大阪府知事表彰

・消防勤続功労章
堀江　勲（五領分団本部）
川上　敏弘（清水分団本部）
段野　俊之（大冠分団本部）
井上　忠宏（大冠分団本部）
髙島　良博（大冠分団本部）
・消防功労章
小林　和子（団本部）
井實　正幸（高槻分団）
衣笠　和典（宮田班）
山中　英樹（西之川原班）
今村　正弘（大蔵司班）
宮本　英稔（野田班）
宮本　隆史（須賀班）
河中　勢一（東天川班）
平井　修隆（津之江班）
髙田　裕士（西面班）
西口　貴司（柱本班）
佐藤　崇（富田分団）
北島　慎太郎（田能班）

日本消防協会長表彰

・精績章
吉田　芳（団本部）
・勤続章
小松　良一（団本部）
吉田　芳（団本部）
平井　浩二（安満班）
木村　憲司（田能班）

大阪府消防協会長表彰

・功績章
小松　良一（団本部）
・永年勤続章
山本　勝巳（五領分団本部）
中井　宏（梶原班）
西本　章（萩之庄班）
平野　和博（安満班）
小野　博実（安満班）
金馬　孝雄（別所班）
山本　雅一（清水分団本部）
古藤　徹（真上班）
杉山　信博（芝生班）
樋口　浩一（唐崎班）
上田　哲也（柱本班）
・勤続章
久野　京子（団本部）

川居　達志（高槻分団）
森本　昌宏（五領分団本部）
橋長　勝（前島班）
池下　卓（山手班）
井上　長博（古曽部班）
大矢　隆行（川久保班）
東　輝夫（阿武野分団本部）
伊藤　豊（宮田班）
田中　才実（奈佐原班）
中井　潤治（宮之川原班）
中谷　弥（萩谷班）
藤　恵一郎（萩谷班）
鈴木　貞幸（萩谷班）
宮本　隆史（須賀班）
長谷川　忠良（須賀班）
吉田　幸嗣（東天川班）
中村　展章（如是分団本部）
川端　正彦（庄所班）
才本　真也（唐崎班）
西口　貴司（柱本班）
北島　慎太郎（田能班）
・勤功章
杉野　仁哉（芥川分団）
屋敷　卓（神内班）
西村　正則（道鵜班）
大黒　幸喜（別所班）
岩　貴弘（成合班）
近藤　規仁（阿武野分団本部）
松本　隆幸（氷室班）
向井　均（土室班）
平野　和彦（原班）
山口　浩司（大蔵司班）
山本　昌則（真上班）
長東　重志（大塚班）
松本　哲雄（辻子班）
髙木　伸二（津之江班）
髙木　章博（津之江班）
古川　昇（西面班）
中内　卓次（唐崎班）
十時　弘喜（富田分団）
大西　亘（二料班）
・精勤章
辻野　知宏（高槻分団）
影山　孝幸（芥川分団）
正野　義弘（五領分団本部）
土井　和洋（上牧班）
井上　睦敏（山手班）
髙原　克樹（成合班）
岩　友次（塚原班）
寺田　博明（土室班）
吉田　俊幸（赤大路班）
檀　俊彦（岡本班）
宮本　純一（大蔵司班）
大寺　正浩（大蔵司班）
泉　浩之（塚脇班）
向井　幸弘（西之川原班）
柴田　和彦（大蔵司班）
新界　大輝（大塚班）
加門

消防団長表彰

・精績章1号表彰
荻野　明子（団本部）
髙科　久雄（如是分団本部）
・精績章2号表彰
辻野　知宏（高槻分団）
片山　佑一（高槻分団）
屋敷　卓（神内班）
大黒　幸喜（別所班）
吉田　博道（阿武野分団本部）
入江　英彰（宮之川原班）
奥野　浩（原班）
奥田　正雄（野田班）
木村　弥（冠班）
河村　正（大冠分団本部）
田淵　晴喜（三島江班）
濵　直輝（柱本班）
伏見　能成（出灰班）
清水　耕造（東天川班）
林　良典（西五百住班）
井上　雅貴（大畑班）
田淵　晴喜（三島江班）
赤木　大介（三島江班）
上原　正三郎（富田分団）

人事異動

昇任者

団本部
副団長　鳥野　忠澄

五領分団
分団長　伊藤　昭久

副分団長　正野　義弘
副分団長　南本　清忠
部長　集　善一
班長　西村　正則
班長　圓實　純
磐手分団
班長　福岡　博典
阿武野分団
分団長　久保田　育仁

副分団長　近藤　規仁

入団者

令和２年４月１日付

部長　岸田　昌範
班長　久保田　義則
班長　吉田　博明
班長　北川　務
班長　宮本　卓磨
清水分団
班長　福岡　輝夫
大冠分団
副分団長　中濱　博
部長　河村　正
班長　山本　竜夫
班長　川端　孝二郎
班長　吉田　幸嗣
三箇牧分団
分団長　二神　義治
副分団長　辻　嘉英
副分団長　川中　健史
部長　木田　光男
樫田分団
部長　浅野　久司
部長　畑山　健児
班長　久保　威仁
班長　田村　貞博
団本部
芥川分団
梅岡　清美
西田　康浩
磐手分団
安満班
福岡　達則
山手班
森田　卓久
阿武野分団
土室班
吉田　真博
土室班
津田　寛
大冠分団
大塚班
寺前　祐志
大塚班
中務　守健
大塚町班
秋田　泰宏
如是分団
東五百住班
中澤　直彦
令和２年４月１日付

退団者

団本部
西村　武
山中　淑子
大田　敦子
芥川分団
菅田　健太朗
羽瀬　知典
五領分団
分団本部
堀江　勲
山本　勝巳

上牧班　森岡　民雄
梶原班　梶村　昌史
梶原班　中井　宏
萩之庄班　正野　貴博
前島班　中川　政一
磐手分団
成合班　岩　光
阿武野分団
分団本部　寺田　信
氷室班　吉田　秀也
宮田班　伊藤　豊
奈佐原班　川瀬　和美
奈佐原班　斉藤　勝巳
土室班　岡村　清資
土室班　田中　利夫

清水分団
宮之川班　中井　潤治
浦堂班　山本　順次
真上班　仲俣　修一
萩谷班　安田　正則
萩谷班　志　隆一
大冠分団
野田班　沼田　博明
番田班　服部　隆一
大塚町班　仲　章彦
如是分団
芝生班　仲谷　光宏
東五百住班　髙谷　利一
三箇牧分団
唐崎班　大浦　禎彦
唐崎班　松岡　裕次郎
柱本班　増井　英二
樫田分団
分団本部　石河　裕
分団本部　南舎　強
中畑班　山口　松実
中畑班　中井　喜男
中畑班　榊　浩二
出灰班　西田　丈義
令和２年３月31日付
萩谷班　奥上　秀和
西面班　古井　裕
三島江班　田中　聖一郎
中畑班　藤田　直昭
令和２年４月30日付

消防ポンプ積載車及び消防小型動力ポンプ更新

清水分団　原班
班長　奥野　浩

阪神淡路大震災後の平成８年から使用していた消防ポンプ積載車を、23年ぶりに更新する事となりました。

旧車両での放水訓練では、消防ポンプ積載車のマフラーより水が漏れたため、修理が必要となりましたが、現在生産終了のため部品が無い状態でした。中古品での修理も考えましたが、今後の耐久性に不安が残るため、更新の決断に至りました。

新しい消防ポンプ積載車は、令和元年11月末に納車式を行いました。旧車両では、老朽化の為に大きなエンジン音と白煙の中での訓練でしたが、新車両ではエンジン音はとても静かで、放水訓練中も指示や応答が聞こえやすく、新しい車両の性能の良さに感動しました。

若い団員でも運転可能なオートマチック車であり、また放水後のぬかるんだ道でも走破性の優れた四輪駆動である点など、今後の消防活動の助けになってくれると思います。

今回の更新に伴い、御理解と御協力、御指導頂きました原財産区、原連合自治会、消防関係各位には大変感謝いたします。

消防ポンプ積載車及び消防小型動力ポンプ更新

如是分団　津之江班
班長　平井　修隆

今回私が消防ポンプ積載車と消防小型動力ポンプの更新を担当し、色々な手続きを執行しました。

手続きはディーラー・高槻市・消防本部・自治会・自治組合と多岐に渡りました。事業計画書を高槻市・消防本部に提出し、全て申請が終わるまでは本当に苦労しました。また、納車後の確認で、一部改修を依頼し、それが終了することで、ようやく通常運用となりました。年末夜警前に納車を終え、新車で夜警を向えることが出来、本当に良かったです。

最後に、今回の車両更新にご協力頂きました皆様、大変ありがとうございました。

令和元年度消防団主力機械特別点検実施結果について

団本部
副団長　奥　正雄

（実施日）
令和元年11月24日
（対象）
・消防ポンプ自動車２台
・消防小型動力ポンプ　54台
・消防ポンプ積載車　50台
（実施結果）
【小型動力ポンプ】
・自動での始動不良１件
・連成計の計器不良１件
※いずれも災害対応には問題なし。
（防災資機材関係）
二重固定の再徹底をお願いします。
（総括）
特別点検で不具合のあった小型動力ポンプについてすぐに是正して下さい。
日々、点検等に消防団員、ひとりひとりが万全を期して下さい。
※全て修理対応済

たかつき消防団だより
編集委員

委員長　樫田　渡邊　美広
副委員長　五領　森本　昌宏
委員　高槻　笠矢　智久
〃　芥川　臼井　秀典
〃　磐手　藤松　元治
〃　阿武野　吉田　博道
〃　清水　氏原　健司
〃　大冠　中濱　博
〃　如是　北島　弘之
〃　三箇牧　辻　嘉英
〃　富田　住田　昇治
〃　団本部　小林　和子
オブザーバー
団本部　小松　良一